

■**児島虎次郎** 洋画家。倉敷の大原家から支援を受け、傑作を描く一方、外国作品の蒐集に努め、大原美術館の基礎に。

こじまとたじろう

明治14年政変1881＝ 岡山県川上郡下原村(高梁市)で、旅館、仕出し業(橋本屋)を営む児島弥吉・雪の次男に生まれる。

内閣発足・・・1885＝ 4歳： 岡山師範学校の図画教師松原三五郎が画才に驚き画家になることを勧めるが、祖母が強く反対。
帝国大学始・・・1886＝ 5歳： 尋常高等確摺小学校初等科六級へ入学。父がコレラで死去。

帝国憲法発布1889＝ 8歳：

帝国議会始・・・1890＝ **9歳**：

日清戦争始・・・1894＝13歳：

Bushidou・・・1899＝**18歳**：

田中正造直訴1901＝20歳： 祖母の許しを得て上京。昼は白馬会研究所に、夜は暁星中学校の夜学に通ってフランス語を学ぶ。
教科書疑獄・・・1902＝21歳： 東京美術学校西洋画科選科に入学。この年はじめて倉敷の大原家を訪ね、孝四郎・孫三郎の親子に会う。以来大原家の奨学生となり、死に至るまでその援助を受けることとなる。

日露戦争始・・・1904＝23歳： 成績優秀につき、2年目に4学年を越えて卒業。引き続き同校研究科に学ぶ。

日露戦争終・・・1905＝24歳：

満鉄発足・・・1906＝25歳： 「里の水車」「登校」。

韓国反日暴動1907＝26歳： *東京府主催勸業博覧会美術展に、黒田清輝の勧めで「なさけの庭」「里の水車」を出品。前者は1等を受賞、皇后が気に入り宮内省の買上げとなる。この快挙に孫三郎から5年間のヨーロッパ留学を許され、

アヲキ創刊・・・1908＝**27歳**： 渡仏。はじめにパリに滞在、やがて閑静な郊外のグレを気に入り、ほぼ1年間をそこで過ごす。

伊藤博文暗殺1909＝28歳： ベルギーのアントワープに赴き、東京美術学校時代の友人太田喜二郎の案内で美術館などを見学。太田が通っていたアントワープ美術アカデミーの校長ジャン・デルヴァンの強い勧めもあり、同校へ入学。この街の雰囲気と美術学校の教育方針が気に入り、3年間を過ごす。

明治天皇没・・・1912＝31歳： ジャン・デルヴァン校長の紹介でアマン＝ジャンと出会い、作品の批評を受ける。アントワープ美術アカデミーを首席で卒業。アマン＝ジャンを訪ね「髪」を購入して、帰国。倉敷北郊の酒津に居を定める。

大正政変・・・1913＝32歳： 石井十次の長女友と結婚。

ロシア革命・・・1917＝**36歳**：

第一次大戦終1918＝37歳： 初めて中国・朝鮮旅行し、古陶磁類を収集。

ベルサイユ条約・・・1919＝38歳： 東京・大阪で個展を開き、好評。{光風会}会員となる。孫三郎から再渡欧を勧められると、本格的な西洋絵画の収集を進言し、孫三郎の依頼を受けて、絵画買い付けを目的に渡欧。

大暴落・・・1920＝39歳：

*サロン・ド・ラ・ツシエテ・ナショナル・デ・ボザールに出品していた4作品のうち、「秋」がフランス政府に買い上げられ、リュクサンブール美術館に收藏される。また、日本人として初めて、同サロンの正会員になる一方、孫三郎からの催促で、モネのアトリエを訪ね「睡蓮」を、マティスを訪ねて「マティス嬢の肖像」を購入したのを皮切りに、27点の作品を購入して、

原敬首相暗殺1921＝40歳： 帰国。{現代フランス名画家作品展覧会}を開催し、大反響。続いて{児島虎次郎氏作品展覧会}開催。

水平社結成・・・1922＝41歳： アマン＝ジャンらに収集してもらった作品を加えて{第2回現代フランス名画家作品展覧会}を開催。再び大反響を呼び、孫三郎から再度収集のための渡欧を命じられ、エジプト経由でパリに赴き、エル・グレコ「受胎告知」購入の仮契約を結ぶ。以後、ロダン、ゴッゲン、シャヴァンヌ、ミレーなど10数点を購入。

関東大震災・・・1923＝42歳： *さらに、モロー、ルドンなどの大作をヨーロッパ各地で購入して帰国。現在の大原美術館の中核をなすことになる新収集作品56点による{第3回泰西名画家作品展覧会}を開催。

護憲三派圧勝1924＝43歳： 第3回中国旅行。明治神宮奉賛会の明治神宮外苑聖徳記念絵画館のための作品の依頼を受け受諾。この頃、「酒津の庭(水連)」。

日本時代始・・・1926＝**45歳**： 第4回中国旅行し、それまでに収集した中国古美術品が、現在の大原美術館東洋館の基礎となる。

金融恐慌・・・1927＝46歳： 明治神宮奉賛会から与えられたテーマの「対露宣戦御前会議」の制作を始める。恩賜京都博物館で{大原コレクション泰西名画展}を開催。帝展審査員となる。

共産党事件・・・1928＝47歳： 東京府美術館で{大原コレクション泰西名画とエジプト・ベルシャ古美術展覧会}を開催。フランス絵画を日本に紹介した功績に対し、オフィシエ・ド・ランストリュクシオン・ピュブリック勲章を贈られる。明治神宮奉賛会より明治天皇を讃える壁画の作成を依頼されたが、制作途中で極度の疲労のため倒れ、

世界恐慌・・・1929＝48歳： 治療の甲斐なく、*没した。壁画「対露宣戦布告御前会議」は友人の吉田苞により完成され、明治神宮聖徳記念絵画館に所蔵されている。孫三郎は児島の死を悼み、彼の業績を永久に記念するとともに、児島の念願としていた西洋美術の公開を実現するための美術館建設を企図した。翌年、岡山で「故児島虎次郎画伯遺作展覧会」を開催。記念美術館建設に着手、竣工、大原美術館と命名。大原コレクションと児島虎次郎の遺作を陳列。大原美術館開館式を挙行、一般に公開する。